

令和 8 年度当初予算案市長説明

(令和 8 年 2 月 16 日)

堺 市

令和 8 年度当初予算案をはじめ関連諸議案の審議をお願いするにあたり、市政運営の方針を申し上げます。

市長就任からこの間、徹底した事業見直しを進め、デジタル化や DX 推進、区役所の機能強化をはじめとした行政改革、新型コロナウイルス感染症や物価高騰など喫緊の課題への対策に加え、子育て・教育環境や福祉の充実、市内各地域の魅力向上や地域活性化など堺の今と将来のために力を注いできました。

「堺市基本計画 2030」の対象期間が始まる令和 8 年度当初予算案は、これらの成果や課題を踏まえ、『次世代につなぐ「堺の未来投資」予算』と位置づけ、「安心できる堺の確保」と「堺の未来への挑戦」に重点を置いて予算編成を行いました。

予算規模は一般会計が 5217 億円、特別会計と企業会計を合わせた全会計が 8758 億円です。

社会保障関係費の増加や社会基盤整備等への投資により、一般会計の規模は令和 7 年度から 338 億円増加し、過去最大です。

令和 8 年度当初予算案のうち、「安心できる堺の確保」の主な施策をお伝えします。

子育てや教育に関しては、若い世代を対象とする健康管理の推進や生殖補助医療と併用可能な先進医療に要する費用の一部助成など、将来のライフプランを考え日々の生活や健康と向き合うプレコンセプションケアを推進します。

認定こども園・保育所等には、配慮が必要なこどもの対応に要する費用の補助を拡充し保育体制の強化を支援します。さらに、保育人材の確保と就業継続を促進するため、令和 8 年度から 10 年度までに採用された新卒保育士等の常勤職員を対象に市独自の応援金を支給します。

こどもたちの総合的な学力の向上を図るため、授業内容の要点を解説する動画コンテンツを活用した新たな学習支援のモデル実施に加え、学力向上アドバイザーとして経験豊富な元校長を小学校及び中学校に派遣し、学力向上の取組を伴走支援します。また、家庭での学習習慣が定着するよう堺市版の家庭学習のてびきを作成します。

不登校児童生徒への支援では、学校内の安心できる居場所となる「スペシャルサポートルーム」に学習支援等を行う支援員を試行的に配置します。また、いじめ対応の専門的な支援体制を強化するためスクールカウンセラーを増員します。さらに、学校外の居場所である教育支援教室の指導員を増員し、入室対象学年を小学校 4 年生から 1 年生以上に拡充します。

保護者の経済的負担の軽減に向けては、市立小学校及び特別支援学校小学部の全学年の給食費を恒久的に無償化し、物価高騰対策として市立中学校及び特別支援学校中学部の給食費を1年間無償化します。さらに、放課後のこどもの居場所である「のびのびルーム」では、負担金額を月額2,000円引き下げ6,000円とします。また、おやつの希望制を導入し、希望しない場合は最大で月額4,000円の減額となります。

一時保護中の子どもへの支援として、小学校及び中学校に通う子どもに対してタクシーによる通学支援を試験的に実施し、高等学校に通う子どもには通学定期代等を助成します。

安全に安心して過ごせる施設の整備に関しては、5年間で実施予定だった学校体育館の空調整備計画を4年間に短縮し、令和10年度までに完了します。また、校舎等の更新や学校トイレの環境改善、道路施設等の効率的な維持管理を実施します。中央図書館は、今後の建替え等を見据えて「(仮称)中央図書館パブリックサービス機能基本構想」を策定します。

上下水道施設では、全国で多発する漏水事故や埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、老朽化対策を重点化し、計画的な維持管理や改築・更新を実施します。

大規模災害への備えとしては、浸水想定区域図の見直し等を踏まえ堺市防災マップをリニューアルし、全戸に配布します。また、受援・応援体制の充実により災害対応力の向上を図るため、災害対策本部事務局の災害対応スペースのレイアウトを再構築することに加え、被災地への支援が円滑かつ効果的に実施できるよう防災服をリニューアルし、宿泊機能を備える支援車両を導入します。

適切に管理されていない空き家や空き地の早期解消に向けては、通報窓口や現地調査、所有者調査を一元化し、所有者不明の空き家等は適切に管理・処分されるよう裁判所に財産管理人等の選任申立てを行います。さらに、市外から転入または市内の賃貸住宅から転居した若年及び子育て世帯を対象に、空き家購入費用の一部を補助し、旧耐震基準の空き家を建て替えた場合も対象とします。

地域の防犯カメラは、将来にわたり無理なく管理できる運用に転換するため公設化し、地域の負担軽減や防犯環境向上を図ります。

高齢者の総合的な相談窓口である「地域包括支援センター」は、地域相談窓口の人員体制を強化し、令和 9 年度に地域相談窓口を増設する圏域を選定します。また、加齢により生じやすい心身機能の低下を予防する「あ・し・た」プロジェクトでは、令和 7 年度に実施した地域展開パイロット事業で得たノウハウを活かし、地域拠点を全市に展開します。

がんの早期発見・早期治療の推進に向けては、胃がんなど 5 つのがんの検診や、胃がんリスク検査、前立腺がん検査の自己負担金の無償化を引き続き実施します。また、障害のある方が日々安心して生活できるよう、障害者（児）日常生活用具の紙おむつや視覚障害者用拡大読書器の給付対象者等を拡充します。

行政サービスの利便性と暮らしの質の向上を図るため、大阪府の都市 OS である ORDEN（オルデン）を活用した大阪総合行政ポータル「my door OSAKA（マイド・ア・おおさか）」と新たな行政サービスとの ID 連携を実施します。

構造改革の推進では、民間手法の活用と DX 等を連動させることにより住民の皆様からの各種申請手続に係る定型業務の効率化を図りながら一括処理する「（仮称）堺スマート事務オフィス」を設置し、住民サービスの向上と職員の最適配置を行います。また、生活保護等の福祉関連業務や建築開発情報のデジタル化により業務効率化や利便性向上を実現します。さらに、区役所への電話問い合わせ内容を分析することにより情報発信の今後の改善につなげます。

次に「堺の未来への挑戦」の主な施策をお伝えします。

市内誘客と消費の促進を図るため、大仙公園の気球の活用や環濠エリアでのイベント開催支援等を通じ、優良な観光コンテンツを創出します。また、大仙公園とさかい利晶の杜、堺駅周辺を結ぶ無料シャトルバスの運行や市外からの団体ツアー支援の拡充等により市内周遊を促進します。さらに、観光情報発信サイトのリニューアルに加え、大阪観光局等との連携によりターゲットに応じたプロモーションを実施します。

堺が誇る茶の湯文化の推進に向けては、三千家合同によるお点前や大阪・関西万博での堺市主催催事で使用した現代アーティストの茶器の活用など、伝統と革新が融合した茶の湯を体験できるイベントを大仙公園で開催します。また、大阪・関西万博の象徴である大屋根リングの木材を用いて移動式茶室を制作し、市内で開催するイベント等で活用することで茶の湯文化の更なる浸透を図ります。

築 45 年が経過する堺市博物館に替わる「（仮称）堺ミュージアム」は、整備に向けて機能や規模など必要な条件を検討し、基本計画の策定に着手します。

堺が中世に繁栄を極めた面影が残る環濠エリアでは、中世の都市景観や生活の痕跡などを直接体感できる遺構展示に向けた試掘調査等を実施します。

堺市を含む関西広域連合の域内では「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」が来年開催されることから、機運醸成と誘客促進を図るため大会の PR 活動を実施し、J-GREEN 堺で開催するサッカー・フットサル競技会の準備を進めます。また大会参加者に対して堺市の観光情報を発信し、大会期間中の市内周遊を促します。

産業振興では、企業投資に有効な産業用地の確保に向けて、全国の様々な業種を対象に堺市内への立地意向や必要となる用地規模、課題等を調査・分析し、部局を横断した検討を実施します。また、「堺市イノベーション投資促進条例」に基づく市税優遇制度により、成長産業分野等における企業投資を誘導します。さらに、カーボンニュートラルにつながる革新的な技術への投資費用を補助します。

中小企業への支援として、国や地方公共団体の補助事業に採択された企業を対象に、補助金交付までの資金繰りを支援するため、無担保保証による融資と信用保証料の補助を実施します。また、中百舌鳥地域でのイノベーション創出を図るため、同地域の新規創業者に対して無担保保証による融資と信用保証料の補助を実施します。さらに、生産性向上を目的として専門家の伴走支援による DX 実践のサポートやデジタルツール・先端設備の導入費用の支援を実施します。

伝統産業のブランド力向上に関しては、伝統産業事業者の生産力を強化するため、工場用建物の取得や設備の購入・改修費用等を補助します。また、「sakai kitchen <堺キッチン>」ブランドを活用した首都圏等での展示や販売、プロモーションを強化し、伝統産業の魅力を広く発信します。

脱炭素の推進に向けては、市有施設の照明器具の LED 化を ESCO 事業やリース事業も活用し、計画期間を 5 年から 2 年に短縮します。

人口流入の促進では、近年続いている社会増の流れが更に加速し、市外に居住する子育て世代に堺市を転入先として選んでいただけるように、堺の居住魅力を効果的に発信する戦略的なプロモーションを実施します。

駅周辺の活性化等による都市魅力の向上も市内各地で力強く進めます。環濠エリアでは元堺消防署や歩道等の公共空間の利活用を公民連携で推進し、堺旧港に近い堺駅周辺では商業・宿泊・図書館機能等の導入を検討します。また、深井駅周辺では水賀池公園における多様な機能が一体となった中区の新たな交流拠点施設の整備を着実に進め、津久野駅周辺では将来の都市機能更新に係る調査検討を行います。さらに、中百舌鳥駅前では駅前北側広場再編に係る事業スキームを検討し、泉ヶ丘駅では、泉ヶ丘駅前南広場デッキ等の再編に係る調査に加え、泉ヶ丘公園を整備します。加えて、泉北ニュータウン地域では新たな技術やサービスを活用して地域課題の解決と暮らしの質の向上をめざし、「SENBOKU スマートシティコンソーシアム」と連携して新たなサービスの実装化を推進します。

SMI プロジェクトは、堺都心部における便利・快適な移動環境の構築をめざす都心ラインにおいて、自動運転レベル4の実現を見据えて大型車両による自動走行や正着等の実証実験を行います。また、堺都心部と市域東部を結ぶことにより東西交通問題の改善をめざす美原ラインでは令和4年度からの実証実験の結果を踏まえて本格運行を開始します。

「サイクルシティ堺」の推進に関しては、自転車の歴史文化や自転車を活用した堺の魅力を発信し、市内周遊や誘客を促進します。また、自転車体験施設やサイクルサポート機能を有する自転車賑わい拠点施設を大和川沿川に整備します。

大阪・関西万博のレガシーを活かした都市魅力の向上にも力を注ぎます。

万博会場では堺市主催の催事等において茶の湯や伝統産業など堺の類いまれな歴史文化を新たな切り口で多くの来場者に体感していただき、挑戦する堺の姿を発信しました。また、堺旧港周辺や大仙公園エリアでは海上交通や気球等の新たな魅力に関心が高まり、多くの参加国とも万博会場内外での連携イベント等を通じて交流が広がりました。こどもたちにとっても万博会場や市内での特別授業等を通じて世界を身近に感じ、多様な価値観や広い視野を身に付ける貴重な機会となりました。万博開催により本市が得たこれらの経験や成果を万博レガシーとして幅広い分野で活かし、堺の更なる成長、発展につなげます。

以上、令和8年度当初予算案の主な施策をご説明しました。

予算案と併せて公表した「財政収支見通し」では、推計期間の前半は市税等の歳入の増加により収支と基金残高が改善する一方、後半にかけては人件費や社会保障関係費、物価や金利の上昇などにより歳出の増加が続く見込みです。さらに、今年度に整備基本計画（案）を策定した次期清掃工場の整備費を新たに反映した結果、収支が厳しくなる見通しです。

今後も将来にわたり必要となる公共施設の更新や社会基盤整備を安定的かつ継続的に実施できるよう、持続可能な財政運営に向けた取組や構造改革を着実に推進します。

組織体制に関しては、社会環境の変化や今後の職員数減少などを見据え、重要施策の推進体制の強化や喫緊の課題への対応、組織の合理化の3つの観点で改正を行います。

まず、市長公室を「政策局」として全庁の政策を推進する役割を担う組織であることを明確化し、職員による自律的な施策立案や部局間連携の推進、「堺市基本計画2030」を軸とした総合マネジメントを強化する体制を構築します。さらに、全庁的な政策推進体制の強化のため、総務事務を政策推進課に移管し、名称を政策経営課とします。

次に、危機管理室では、南海トラフ地震の新たな津波被害想定の公表を踏まえた「堺市津波避難計画」の更新と合わせて市民の防災意識の向上を図るため、防災課に「津波避難計画担当課長」を配置します。

健康福祉局では、超高齢社会の進展に伴う医療や介護の需要増や単身高齢者の増加等の課題に対応する体制を整備するため、長寿支援課に「在宅支援・介護予防担当課長」を配置します。

また、構造改革の取組として、組織の大括り化を進めるなど組織の合理化に注力することに加え、人材確保が困難な職や管理職に対し管理職手当の引上げをはじめとした処遇改善等を実施し、優秀な人材の確保・育成を図ります。

少子化の加速や物価高騰をはじめ本市を取り巻く環境は今後一層厳しさを増すことが想定されますが、スリムで強靱な組織体制を構築し、持続可能な財政運営を堅持しながらも未来への投資を果敢に行い、先人から受け継いだ堺の貴重な資源や可能性を最大限に活かして挑戦し続けることにより、「安心できる堺の確保」と「堺の未来への挑戦」が着実に進むように力を注ぎます。

市民の皆様がこれからも堺で安心して暮らし続けることができ、将来にも夢と希望が持てる都市であるよう力を尽くしますので、議員の皆様、市民の皆様におかれましては、引き続きのご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

令和8年度当初予算案市長説明

令和8年2月 発行

編集・発行 堺市財政局財政部財政課
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

Tel 072-233-1101

URL <https://www.city.sakai.lg.jp/>

配架資料番号

1-B2-25-0076